

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																						
富山情報ビジネス専門学校		昭和51年4月1日		喜多憲治		〒934-0341 富山県射水市三ヶ576 (電話) 0766-55-1420																						
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																						
学校法人浦山学園		昭和41年12月26日		浦山哲郎		〒934-0341 富山県射水市三ヶ613 (電話) 0766-55-3977																						
分野		認定課程名		認定学科名		専門士		高度専門士																				
商業実務		商業実務専門課程		ホテル・ブライダル学科		平成22年文部科学省 告示第152号		-																				
学科の目的		1、ホテル・ブライダル業界の仕組みを理解し、サービスオペレーション及びプロデュースするための必要な実務知識と技能を習得している。 2、海外からのお客様とのコミュニケーションの必要性を理解し、基本英会話を習得している。 3、ホスピタリティ精神を有し、必要な技能を習得している。																										
認定年月日		平成26年3月31日																										
修業年限		昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義		演習		実習		実験		実技																
2年		昼間	1700時間	540時間		1140時間		225時間																				
生徒総定員		生徒実員		留学生数(生徒実員の内)		専任教員数		兼任教員数		総教員数		単位時間																
50人		24人		0人		2人		6人		8人																		
学期制度		■前期:4月1日～8月31日 ■後期:9月1日～3月31日				成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 基準 A(90点以上)、B(80点以上)、C(70点以上)、D(60点以上)、 F(60点未満)の5段階で評価し、Fを不認定とする。 方法 課題・授業態度・その他の要素を一定割合の評価点として算 出し、合計する																				
長期休み		■学年始:4月1日 ■夏季:8月1日～9月1日 ■冬季:12月12日～1月9日 ■学年末:3月31日				卒業・進級 条件		卒業条件:GPA(評定平均値) 2.0ポイント以上 取得単位数: 74単位以上 進級条件: 39単位以上 必修科目をすべて取得していること																				
学修支援等		■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 定期的な生活指導				課外活動		■課外活動の種類 ブライダルストーリー ■サークル活動: 有																				
就職等の 状況※2		■主な就職先、業界等(平成28年度卒業生) ・県内外ホテル ・ブライダルハウス ・衣装室 ■就職指導内容 ・履歴書指導、面接指導 ・求人紹介 ■卒業生数 13 人 ■就職希望者数 13 人 ■就職者数 13 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 100 % ■その他 (平成 28 年度卒業者に関する 平成29年5月1日 時点の情報)				主な学修成果 (資格・検定等) ※3		■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成28年度卒業者に関する平成29年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>WBW認定ウェディング グスペシャリス (CWS)</td> <td>③</td> <td>13 人</td> <td>13 人</td> </tr> <tr> <td>ホテルビジネス実務検定</td> <td>③</td> <td>13 人</td> <td>7 人</td> </tr> <tr> <td>アシスタント・ウェディング・プラ ンナー検定</td> <td>③</td> <td>13 人</td> <td>13 人</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか 記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等					資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	WBW認定ウェディング グスペシャリス (CWS)	③	13 人	13 人	ホテルビジネス実務検定	③	13 人	7 人	アシスタント・ウェディング・プラ ンナー検定	③	13 人	13 人
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																									
WBW認定ウェディング グスペシャリス (CWS)	③	13 人	13 人																									
ホテルビジネス実務検定	③	13 人	7 人																									
アシスタント・ウェディング・プラ ンナー検定	③	13 人	13 人																									
中途退学 の現状		■中途退学者 6 名 平成28年4月1日時点において、在学者30名(平成28年4月1日入学者を含む) 平成29年3月31日時点において、在学者24名(平成29年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更 金銭的理由 ■中退防止・中退者支援のための取組 個別面談やカウンセリングの実施				■中退率 20 %																						

<p>経済的支援制度</p>	<p>■学校独自の奨学金・授業料等減免制度：<input checked="" type="checkbox"/>有<input type="checkbox"/>無 ※有の場合、制度内容を記入 ・プレゼンテーション入試(入学時選考) 選考により 1年次授業料免除 1年前期授業料免除 入学金免除 1年前期施設設備費免除 ・進級時特待生試験(進級時選考) 選考により 翌年授業料免除 翌年前期授業料免除 翌年前期演習充実費免除</p> <p>■専門実践教育訓練給付：<input checked="" type="checkbox"/>給付対象<input type="checkbox"/>非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載</p>
<p>第三者による学校評価</p>	<p>■民間の評価機関等から第三者評価：<input type="checkbox"/>有<input checked="" type="checkbox"/>無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)</p>
<p>当該学科のホームページURL</p>	<p>http://www.bit.urayama.ac.jp/subject-course/</p>

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針
 企業アンケートでの意見や実習、または企業連携している企業担当者からの意見・要望を踏まえ、職業現場で必要となる技能・スキルを学ぶことができる授業体系を構築している。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け
 カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項、各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項、教科書・教材の選定に関する事項、その他教員としての資質能力の育成に必要な研修に関する事項を審議し学科に提案する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成29年3月31日現在

名前	所属	任期	種別
坂井 彦就	富山県ホテル旅館生活衛生同業組合理事長 富山市ホテル旅館事業協同組合 副理事長	平成28年7月1日～平成29年9月30日(1年)	①
北山 明弘	ANAクラウンプラザホテル富山 総務ITマネージャー	平成28年7月1日～平成29年9月30日(1年)	③
嶽 徹	射水神社 統括マネージャー	平成28年7月1日～平成29年9月30日(1年)	③
松倉 基晴	富山情報ビジネス専門学校ホテル・ブライダル		
高野 直人	富山情報ビジネス専門学校ホテル・ブライダル		

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(開催日時)

第1回 平成28年11月7日 16:30～17:30

第2回 平成29年3月6日 16:00～17:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

次の提案や意見があった。留学をすることで外国人のお客様への接客に抵抗がなくなる。留学が充実するようにもっと英語の授業を増やしてほしい。また、留学や2年間での成長を数値化できると良い。これらの内容については、英語科目を増やし、数値として公開できるよう取り組んでいる。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

職業現場において必要とされるスキルの習得という方針に基づき取り組んでいる。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

当該実習および演習授業において、授業概要立案、実施、評価に至るまで連携先と相談し 実施している。年度開始前に、契約書を取り交わし、授業概要を作成確認し、実施後の成績評価まで双方の確認をおこなっている。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
フラワーアレンジメント IA	婚礼に必要な知識としてブライダルブーケの応用的テクニックを習得する	Atelier juillet
ブライダルビューティ IIA	婚礼に必要な知識として着付・ブライダルヘアーの基本的テクニックを習得する。	有限会社ブリーズ髪風

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

・ホテル・ブライダル業界においては、必要とされるスキルなどが毎年、毎シーズンごとによって変わっていくものである。また、思想言葉、マストアイテム等、流行があり、業界としてその流れに沿うような人材を育てる必要がある。毎年、毎シーズン毎の流行や景気、動向を踏まえた授業を実践できる力量を身につける。
 ・職業現場で活かせる専門的・基礎的な知識から、実践・応用できる能力を身につけることができるような授業内容を構成していく。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

・ブライダル施設の見学 (アール ベル アンジェ)
 ・浦山学園FD/SD研修会 論文の書き方:ビギナー編
 ・観光立国への道 (ANAクラウンプラザホテル富山)

② 指導力の修得・向上のための研修等

・ホスピタリティセミナー (宇奈月杉乃井ホテル)

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

・ブライダル施設の見学(キャナル サイド ララ シャンス)
 ・ホテル・旅館施設の見学(ANAクラウンプラザホテル富山・鳥越の宿三楽園)

② 指導力の修得・向上のための研修等

・教職員セミナー (富山県専修学校各種学校連合会)
 ・(全専研)アドラー心理学に基づく学生指導・クラス運営研修

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

富山情報ビジネス専門学校により実践的な職業教育の質を確保するため、自己点検評価報告書に基づき、教育活動の観察や意見交換をおこなう。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	(自己点検・評価報告) I-A建学の精神、I-B教育の効果
(2) 学校運営	(自己点検・評価報告) III-A人的資源、IV-A理事長のリーダーシップ、IV-B校長のリーダーシップ、IV-Cガバナンス
(3) 教育活動	(自己点検・評価報告) II-A教育課程、III-A人的資源
(4) 学修成果	(自己点検・評価報告) II-B学生支援
(5) 学生支援	(自己点検・評価報告) II-B学生支援
(6) 教育環境	(自己点検・評価報告) III-B物的資源、III-Cその他資源
(7) 学生の受入れ募集	(自己点検・評価報告) II-B学生支援
(8) 財務	(自己点検・評価報告) III-D財的資源
(9) 法令等の遵守	(自己点検・評価報告) I-C自己点検・評価
(10) 社会貢献・地域貢献	
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

- ・学習成果の測定方法を検証すべき
学内で検討し、検定2週間前からの測定を開始した。資格の必要性も併せて検討実施中。
- ・卒業生の離職についての対応
離職率調査を実施するため準備中。離職しないための指導授業として、学科ごとにキャリア支援を平成30年度入学生から実施予定。
- ・学生が、自習できるようにする仕組みづくり
各学科でアクティブラーニングへの対応と併せて検討実施中。
- ・実務対応と適応力を育む人材育成
リーダーシップだけでなく、フォロワーシップの重要性も指導するためのキャリア指導科目設定。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成29年3月15日現在

名前	所属	任期	種別
吉岡 隆一郎	株式会社文苑堂書店 代表取締役 社長	平成28年10月1日～平成30年9月30日(2年)	企業等委員
杉本 章郎	富山情報ビジネス専門学校同窓会 会長	平成28年10月1日～平成30年9月30日(2年)	卒業生
奈呉江 教典	高岡龍谷高等学校 校長	平成28年10月1日～平成30年9月30日(2年)	高校校長
寺谷 隆子	富山情報ビジネス専門学校同窓会 後援会長	平成28年10月1日～平成30年9月30日(2年)	PTA

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ

URL:

http://www.bit.urayama.ac.jp/disclosure/pdf/evaluation_report.pdf

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

富山情報ビジネス専門学校職業実践専門課程認定学科における職業教育について、次年度より実践的な教育活動をおこなうための指摘事項や意見をもらう場とする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	(自己点検・評価報告) I-A建学の精神、I-B教育の効果
(2) 各学科等の教育	(自己点検・評価報告) III-A人的資源、IV-A理事長のリーダーシップ、IV-B校長のリーダーシップ、IV-Cガバナンス
(3) 教職員	(自己点検・評価報告) II-A教育課程、III-A人的資源
(4) キャリア教育・実践的職業教育	(自己点検・評価報告) II-B学生支援
(5) 様々な教育活動・教育環境	(自己点検・評価報告) II-B学生支援
(6) 学生の生活支援	(自己点検・評価報告) III-B物的資源、III-Cその他資源
(7) 学生納付金・修学支援	(自己点検・評価報告) II-B学生支援
(8) 学校の財務	(自己点検・評価報告) III-D財的資源
(9) 学校評価	(自己点検・評価報告) I-C自己点検・評価
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

URL:

http://www.bit.urayama.ac.jp/disclosure/pdf/evaluation_report.pdf

授業科目等の概要

(商業専門課程ホテル・ブライダル学科) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ホテル概論ⅠA	ホテルに関する基本的知識を習得し、体系的にホテルを理解することを目的とする	1・前	60	4	○			○		○		
		○	ホテルフロントオフィス講義ⅠA	ホテルの宿泊部門における業務を体系的に学ぶ	1・後	30	2	○				○		○	
		○	ホテルフロントオフィス実習ⅠA	ホテルの宿泊部門における業務を体系的に学ぶ	1・後	30	1		○			○		○	
		○	ホテルフロントサービス実務(予約・会計)ⅠA	ホテルの宿泊部門における業務を体系的に学ぶ	1・後	30	1		○			○		○	
		○	基礎英語ⅠA	英語の基本的会話を習得することを目的とする	1・前	60	4	○			○		○		
		○	ホテルESP基礎ⅠA	英語の基本的会話を習得することを目的とする	1・前	60	4	○			○		○		
		○	グローバル英語基礎ⅠA	英語の基本的会話を習得することを目的とする	1・後	30	2	○				○		○	
		○	グローバル英語応用ⅠA	英語の応用的会話を習得することを目的とする	1・後	30	2	○				○		○	
		○	ホテルESP応用ⅠA	ホテルでの専門英語を活用することを目的とする	1・後	30	2	○				○		○	
		○	レストラン・宴会実務講義ⅠA	ホテルの宴会・レストラン部門における基礎的業務を体系的に学ぶ	1・後	30	2	○				○		○	
		○	レストラン・宴会実務実習ⅠA	ホテルの宴会・レストラン部門における基礎的業務を体系的に学ぶ	1・後	30	1		○			○		○	

